

2012 年度 第 1 回 エンデューロ部会 議事録

【ダイジェスト版】

開催日：2012 年 7 月 9 日（月）

開催場所：（一財）日本モーターサイクルスポーツ協会・会議室

1 前回議事録の確認

2011 年 11 月 28 日に開催された「2011 年度第 2 回エンデューロ部会」の議事録が確認された。

※ 2012 年 ISDE トロフィーチームの出場について、前回部会で承認された方法で有資格選手に出場意思を確認し、トロフィーチームの出場はしないことが決定した。

2 2012 全日本エンデューロ選手権シリーズ暫定ランキングの確認

表記シリーズの暫定ランキング（第 1 戦 SUGO 大会、第 2 戦定義大会終了時点）が提出され、確認された。

3 2012 開催状況中間報告について（第 2 戦終了時点）

① 参加台数前年対比：総エントリー台数 159%
（インターナショナル A：117%、インターナショナル B：131%、ナショナル：162%）

② 審査委員長報告

第 1 戦 SUGO 大会（スポーツランド SUGO）

悪天候の下、開催された。ライダーの軽微な不正行為について詳細に審査委員会へ報告があったが、役員の権限において処理する事項との分別も必要だと感じた。

第 2 戦 定義大会（大倉牧場跡地）

前日に記録的な豪雨もあり大会自体の中止の選択肢もあったがスタッフの尽力で開催にこぎつけた。併催承認クラスの選手が 1 周目に戻って来れず赤旗を提示し、レース中断。コース変更等の作業行い、再スタートとなったが、リザルトの訂正や発行遅れなどが発生した。

問題定義：

- ① 中止のガイドライン（誰が？どの時点で？どのように決定し、告知するか？）
- ② 計測システム（特に悪天候や中断などの際は、リザルト発行が困難となる）
- ③ エンデューロ競技役員ライセンスの発給（モトクロスと規則が異なる為、専用に必要ではないか？）

4 2013 年主要競技会日程調整

※ 具体的な日程調整は 10 月初旬に行う。（あくまで暫定スケジュールである）

※ エリア選手権が整備された為、全日本との差別化を図るべく、全日本は 2DAYS 大会を 3 戦実施する方針。

※ 1DAY は参加型としてエリアで積極的に実施することとし、地域活性化とオンタイム方式の普及を目指す。

※ 第 3 戦西日本は、会議日時点でエリアが 1 戦消化しただけなので、さらに大会の様子を見て調整したい。調整次第では、第 3 戦は東日本地区での開催となる可能性もある。

第 1 戦（Rd1、2） 東北地区・・・5 月

第 2 戦（Rd3、4） 北海道地区（夕張）・・・7 月 12, 13, 14 のうち 2 日

第 3 戦（Rd5、6） 西日本地区・・・9 月～11 月頃

5 選手会の要望

- 1) 全日本は 2DAY 開催とする方向で調整をお願いしたい
2013 年は、3 戦をすべて 2 日間制で調整する。
- 2) 全日本開催数について
多くの選手は、全日本シリーズを 3 戦で開催することは決して不足という考えは無く、各地で開催されている JEC ライツ等のイベントやレースで国際 A 級ライダーの運営フォロー等に協力して行くよう調整している。
- 3) SUGO での全日本開催継続要望について
ED 東北部会では、定義で、設営・運営等を SUGO 大会のスタッフが中心に実施することで協議を進めている。

※SUGO では、永年の開催により会場内のコースの至る所にメンテナンスが必要となっている。

自然環境を戻すためにも 1 年以上は開催をしない方針である。また、東北地区内でエンデューロレース開催候補地が複数あり、ユーザーに色々な会場を走ってもらうことも非常に重要なことだと考えている。選手会に理解をお願いしたい。

- 4) 全日本の競技規則に関しては、極力、規則書に沿った内容で開催してほしい。
規則書の見直しを図り、極力対応する。

6 普及対策

- 1) JEC ライツについて
オンタイム方式のエンデューロ競技会の普及拡大を目的として開催されている「JEC ライツ」について、JEC プロモーション中西氏より報告された。

意見

- ・ 全日本、エリア選手権との棲み分けを明確にすべきである。
例：ライツ・・・1 周 5 分程度のコースを使用
エリア・・・MFJ 規則に則り 1 周 30 分程度のコースにスペシャルテストを 1 箇所程度設定
全日本・・・MFJ 規則に則り 2 日制で総走行距離 50km 以上
- ・ “選手権” の名称はレベルが高いイメージを与えて嫌悪感を示すライダーもいる。
- ・ データから、近畿・中部のライセンス人口が少なく、四国の会員が増加となっており、エリア選手権等の開催が会員数増加に影響しているとの見方もできる。
- ・ 参加者はバイクショップが多く集めてくれている。

対策案

- ・ 全日本ーエリアーライツを一元化し、ピラミッド的な構造を構築したい。
 - ・ JEC プロモーションで一元管理はできないか？
 - ・ 別途作業部会で普及プロジェクトの検討を始めることが提案された。
- 2) ライセンス人口の報告
全体的にライセンス人口が減少している状況下で、エンデューロは全体で 111% と増加。
特にナショナルクラスが 127% と増加し、北海道・東北・西日本エリア選手権の立ち上げによる成果と判断することができる。年齢層は 30~40 才代が中心であり、他種目からの転向者も多い。
 - 3) ボーナスポイント対象大会
SSER 大会とのコラボレートで開催される、「四国エリア選手権シリーズ第 3 戦」は、3 日間総合結果に対するポイント付与とし、さらにボーナスポイント対象大会として、各順位に 10 点加算することが承認された。

4) ライセンス優遇期間について

2013 年 1 月～3 月までに新規でライセンスを取得する方を対象とした、割引優遇措置の MFJ 事務局案が報告された。(金額等は未定、調整中)

5) 各地区エリア戦の状況報告について

■ 東日本エリア選手権シリーズ

震災の影響が払拭できず、参加台数が増えない。山形大会は主催者から諸事情により開催できないとの連絡があり、代替え日程と代替会場にて調整している。

■ 西日本エリア選手権シリーズ

(会議開催)現時点で、まだ1戦しか開催していない為、評価はわからない。
開催した1戦は、オンタイム方式によりテージャスランチで開催した。昨年は約50台の参加だったが、今年は70名弱、半数近くの選手は、初参加であった。
モトクロスライダーも走れる環境に設定しており、承認クラスにはモトクロスライダーも参加していた。また、参加者増加の要因として、販売店の協力は非常に大きかった。

■ 北海道エリア選手権シリーズ

北海道エリア選手権シリーズはまだ開催していない(初戦は8月5日)。
承認格式で開催された北海道クロスカントリーは(会議時点で)3戦が終了し、参加台数が昨年の30%減。
平均1大会30台であり、函館大会は例年100台が今年は60台と、大幅な減少。競技回数が多い為過密スケジュールにより参加者が分散していると推測され、北海道エンデューロ部会における日程調整が必要である。

問題点

- ・ 計測業務
西日本は自動計測装置を使用している。ただし、その分は経費計上していない為、費用負担は大きい。
- ・ 規則適用
エリア選手権は規則を細かく制約しすぎると融通が利かなくなる可能性もある為、特別規則の発行などで、ある程度自由度を認めることも必要。
- ・ 年齢構成
子供と一緒にレースに参加できる環境の提供も必要。
- ・ 試乗会
エリア選手権で試乗会も検討されている

6) 三宅島エンデューロレース

本年10月13日に開催が予定されている「WERIDE 三宅島エンデューロレース」の特別規則(案)が提出された。

7 国内競技規則改訂案について

規則変更点の見直し作業が行われた。主な改訂案は、以下の通り。

1) 順位の決定方法について P275 **39** 表彰式 参照**決定事項**

表彰は、2日間の総合結果で表彰を行う。
シリーズポイントは、現状通り1日目・2日目それぞれに与えられる。

2) クラス P277 11 クラス 参照**決定事項**

FIM 規則に準じた ENDURO-1~3 までの排気量の記載が必要ではないか？（認知度向上の為）との意見があったが、全日本・エリアは排気量 OPEN で開催されている為、現状通り追記しないこととなった。

3) 名称変更 P260 6 全日本選手権 参照**決定事項**

項目タイトルを変更

「ライセンス、ライセンスによるクラス区分、ポイント、ゼッケン」

4) 車検 P263 12 車両の検査 参照

車両検査についての表記変更案が提出された。

決定事項

①サイレンサーの音量測定について、「選手は指定された時間内（30 分以内）であれば何度でも測定を受けられる」とすることが決定した。

②①により、P274 32 ペナルティリストにある以下文言に矛盾が生じる為、削除することが決定した。

削除：32-3 失格（または他のペナルティー）

－最大音量を超えた

1 回目の場合 . . . 1 分加算

2 回目の場合 . . . 失格

5) スペシャルテストの距離

エンデューロテストの距離規定（1~6km）において、更に長い距離での設定は可能か？規則改訂は必要か？

決定事項

・あくまで 1~6km は目安と判断する。 ※P272 28 スペシャルテストの規則文章に“目安”を追記。

・大会ごとに行われるコース査察で了承を得られれば可能と判断する。

6) その他

継続検討

①狭いエリアでの開催に関する規則の追加は必要か？

②検討が必要な事項

- 全日本全戦でのタイムカード統一化
- タイムチェックの運用統一化
- スタート手順の統一化
- 再車検手順の統一化

※ 規則書改訂案を各部会員が持ち帰り、詳細部分を確認して修正箇所があれば、本部事務局へ連絡すること。

※ 次回部会にて、規則改訂を最終決定する。